

松浦研究室 卒業研究予稿集手引き

(実験系)

A. 予稿集の内容

【背景】

自分の行ってきた卒業研究を顧みて、

- a. なぜこの研究をする必要があるのか、
- b. 今までに、この研究分野のどの部分がどのように研究されてきたか
を書くこと。

【目的】(「【目的】」または「【はじめに】」として、背景といっしょに書いてもよい。)

背景から考えて、どの部分に注目して今回研究を試みるかを**具体的に**書くこと。

【実験方法】

実験の手順を簡単に書くこと。

【実験結果】

グラフ・表を使いながら、実験結果を**客観的に**書くこと。

【考察】(「【実験結果及び考察】」として、実験結果といっしょに書いてもよい。また、考察に必要な理論があれば、実験方法の前に節「【理論】」を作ってもよい。)

実験結果から何がわかったか、何が推論できたかを**具体的に**書くこと。

ここが卒業研究で最も重要な節である。

【結論】

必ず、「【実験結果】」及び「【考察】」のところで書いた結果・考察のうち、最も重要な結果・考察だけを簡単にまとめて書くこと。

【謝辞】 本研究を行うにあたって、お世話になった人(松浦研究室以外)に謝辞を書くこと。

【参考文献】 本予稿集で引用した理論、実験結果等の論文を列挙すること。

本文中に示した番号 1)、2)...と参考文献の 1)、2)...とを対応付けること。

B. 予稿集の書き方

次の順序に従って、予稿集を作成すること。

1. 節ごと(背景、目的、実験結果・・・)にキーワード(書かなければならない単語)を列挙すること。
2. 各キーワードを用いて、単文(主語+目的語+述語)を作り、番号を付けること。
3. 各単文を並べ替え、論理的に(話の筋が飛ばないように)読めるように並べること。
4. 単文間に接続詞等を付け、日本語として読みやすいようにすること。
5. 何回も読み返して、引っかかるところがあれば訂正すること。

(いったん研究を忘れて、初めてこの研究内容を読む読者になって、読み直すこと。)